

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 わかば		2025年 12月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用者や人数に応じて職員を配置している。	人員が足りないと感じるときはプログラムの内容を変えるなどの対応が必要なのでその点は課題に感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		施設内は大きな段差もなく子供用トイレも設置されているので過ごしやすと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日玩具や棚の消毒を行っている。活動内容を子どもたちにもわかりやすく提示するなどの工夫もしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		活動を分けられる部屋や、パーテーションにより空間の分離ができるようになっているので、休息やクールダウン時の使用が可能。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		業務改善に対しては積極的にできていると感じるがPDCAサイクルへの意識は薄いと感じている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に保護者に評価を実施。評価内容は全職員で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	定期的に職会議や面談を実施。長期間での改善が必要場ごとにに対しては改善の途中だが、業務改善には積極的に取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内や事業所ごとの研修があり、事例検討や法定研修など参加しやすい雰囲気ができている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		活動の内容やプログラムは事前に保護者にお知らせしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		支援員がモニタリングに参加し、利用児の課題や今後の支援の方法などを保護者と直接話せる環境がある。その内容をもとに計画書の作成ができている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画書は職員間で共有し、それぞれの課題に応じた支援内容を考えている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	職員間での支援計画の共有はできている。	利用児の利用状況などにより、計画通りの支援が難しいと感じる場面もある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援に必要な項目がスモールステップで設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全員が積極的に案を出す機会があり、十分に意見の交換ができている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	ゆっくりタイムなど個別に支援する時間を設けながら支援を行っている。	午後のみの利用児に関しては午睡が必要な利用者もいるため、時間を作ることが難しいこともある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		アプリ（HUG）を利用して日々の記録や支援の内容を残している。職員全員が確認できるので課題などを把握しやすい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		各利用児に担当を決めることでより一層状況を理解しようと努めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		主にモニタリングの時期など、定期的に併用園を訪問して利用児の情報共有を行うなど、相互理解を図るための機会を設けている。	行事などがあると時間的に対応が難しいことがある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		共有すべき情報は適宜提供している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5		あまり機会はないが、必要に応じて連絡を取り助言等いただいている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	地域の就労事業所など連携が可能なおところは共に過ごす時間を設けるなどできている。	保育所等の子どもとのかかわりを持つ機会は少ないので今後の課題である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ランチ会で子育てについての勉強会を行ったり、相談事に個別に対応するなど研修の機会や情報提供の場を設けている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		普段の様子を連絡帳を通して伝えている。定期的なモニタリングで困りごとなど相談の受付、面談、助言などの支援行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者同士のかかわりが持てるように定期的にランチ会の開催や親子イベントを開催している。きょうだい児に対しても参加を促すなど働きかけている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回のおたよりの発行、インスタグラムでの普段の様子の発信を行い、行事の案内や活動の様子を伝えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	3事業所でのイベントには地域の方を招いて開催するものもある。	事業所単体で行うことは現段階では人員の都合等の為難しさを感じている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に研修や避難訓練・引き渡し訓練を行うことで各マニュアルについて周知、実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	会議等でヒヤリハットの報告、再発防止案の検討を行っている。	ヒヤリハット事項があっても記入を忘れることがあるので、こまめに確認していきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待についての研修は法人全体で行っており、ストレスチェックや普段のメンタルケアについても意識しながら職員同士で配慮している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			